

令和8年度 高山市立江名子小学校 学校経営構想

○第4次岐阜県教育ビジョンの基本

自立力→主体的に学び、考え、行動する
共生力→つながり、認め合い、支え合う力
創造力→よりよい未来を築いていく力
ふるさと岐阜で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人

○高山市小・学校教育の方針

未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成
重点：より深い学びへ 一人ひとりに合った学びの実現
一人ひとりに合った居場所の実現

○学校課題

たくましく生き抜くための自己肯定感の育成と学力向上

◇児童が笑顔になる教育の推進

- ・得意を伸ばして与える側で行動できる
- ・生きる力 確かな学力(知・徳・体)の育成
- ・仲間の思いを汲み、共に高まる人間関係力

■学校の教育目標

笑顔いっぱい 江名子の子 ○まなびあい ○たすけあい ○みがきあい

■育てたい資質・能力

挑戦する力

願いをもち試行錯誤をしてやりぬく力～



【3つの重点】

- ①一人ひとりの得意を伸ばし与える側まで（自己肯定感の育成と挑戦心）
- ②多様性に配慮した公平な教育環境づくり（合理的配慮の工夫）
- ③温かいまなざしで寄り添って（複数の職員で成長を支え続ける）

《キャッチフレーズ》

得意を伸ばせ

（イソップ童話 よくばりな犬より）

自分を知り得意を伸ばすことは自己を磨くことであり多様な力もつき自己肯定感も高まる

まなびあい

学力に責任を持つ

- ・複数の教職員でみる
- ・得意を伸ばし主体的に学ぶ授業
- ・単元を見通した授業構想
- ・個別最適な授業へのダイナミックなチャレンジ
- ・授業後半→15分程度は「チャレンジタイム」で一人ひとりにあった授業
- ・ミニ先生の活用
- ・ICTの活用を増やした授業
- ・学力を伸ばす

たすけあい

すべての子に居場所と絆を

- ・朝のウォーミングアップスタートで一人ひとりに合った心身の調和
- ・支援と指導に複数の職員で関わる
- ・得意を伸ばし与える側まで
- ・一人ひとりにあった合理的配慮
- ・仲間のよさを見つけ、共に創造できる
- ・人や物を大事に扱う児童でやさしさを育む（服をたたむ、机を持ち上げて運ぶ）
- ・心の健康づくり(眠育 保健授業)
- ・校内支援センター(ホットルーム)居場所確保
- ・相談活動の充実(教相 特支)

みがきあい

児童(保護者・地域)と共に創る

- ・生き方につながるもの
- ・多様な事実の積み重ねで自己の進路選択へ
- ・ふるさとでの体験や話を聞く会
- ・家庭と共に生活習慣を確立
- ・朝あそび(体力づくり)や縦割り活動で自分を磨く
- ・地域講師の積極的な活用
- ・保護者や地域との連携
- ・関係機関と連携した児童支援

働く環境を整え心身健康で安心・安全の確保とバランス力ある江名子小職員

- ・規律と学びのバランス力を磨く
- ・複数の職員で児童をみる(教師の役割分担 学習指導の最適化 児童の多様性 職員の持続可能な働き方改革)
- ・あたたかいまなざしで児童や保護者の「言葉」と「心」に傾聴し、常に高いアンテナを持ち、迅速に対応する教師
- ・いじめ、不登校の未然防止と早期発見・対応のできる教師・組織
- ・「カッコいい大人」、「美しい大人」の人間モデルとなる教師の姿勢
- ・自身の心身の健康管理ができる教師(超過勤務45時間の意識と勤務)

PTAと学校運営委員会を通した保小中、保護者、地域との連携

◎江名子地域に根ざした「保・小・中連携教育」の推進

- ・願いの共有……地域と学校との「育てたい資質能力」の共有と見届け
- ・地域教育の推進……地域を知る ～総合的な学習を校に郷土教育の推進～
- ・学習環境の整備……地域人材による学習支援を生かした学び方の共有